

2011年3月25日

<生命保険 UCDAアワード2011>を受賞

～ 郵送とWebによる情報提供、わかりやすさ・充実度が高評価 ～

アフラック(アメリカンファミリー生命保険会社、日本における代表者・社長:外池徹)は、一般社団法人ユニバーサルコミュニケーションデザイン協会¹が主催する「UCDAアワード2011」におきまして、最優秀となる<生命保険 UCDAアワード2011>を受賞しました。

当社は、ご契約内容をお知らせするため、契約者に年1回の総合通知書(「アフラックメール」)を郵送するとともに、インターネットでご自身のご契約内容を確認することができる「ご契約者様専用サイト」を提供しております。今回の受賞は「アフラックメール」と「ご契約者様専用サイト」が相互に補完的役割を担いながら、情報全体の流れのわかりやすさ、充実度が高く評価されたことによるものです。

受賞にあたっては、多くのお客様の声をもとに改善・改良を重ねた結果であると考えております。今後も、お客様にとって大切な情報をわかりやすくお届けするよう努めてまいります。

受賞名 : <生命保険 UCDAアワード2011>

「第三者」による客観的な評価



「UCDAアワード」は、企業が提供する情報を、産業・学術・生活者の知見により開発した尺度を使用して、「第三者」が客観的に評価するものです。評価結果が、改善のための指標となり、デザイン技術の発展とコミュニケーション品質の向上を通じて、企業と生活者双方の利益に貢献することを目指します。今回の「UCDAアワード2011」は、利用品質の確保とコスト削減をテーマに開催。国内の生命保険会社、損害保険会社33社がエントリーしています。

¹ 一般社団法人ユニバーサルコミュニケーションデザイン協会について (URL: <http://www.ucda.jp/>)

2007年任意団体として設立(2009年11月に一般社団法人化)。視覚情報伝達の領域に、人間中心設計の考え方を導入。生活者の生命・財産に関わる「金融コミュニケーション」の分野を中心に、帳票やコミュニケーションメディアの研究と評価・改善を行っています。産業・学術・生活者の第三者による研究および評価・改善活動での情報の伝達効率を向上させ、発信者である企業・団体と、受信者である生活者、双方の利益に資することをめざしています。